



コース	分類	学習前	学習後
1標準予防策	1	82.2%	91.5%
2手指衛生	2	83.8%	91.9%
3滅菌	3	71.1%	87.4%
4職業感染防止	4	94.0%	98.0%
5VAP	5	70.8%	89.1%
6BSI	6	68.7%	93.1%
7UTI	7	74.0%	90.9%
8SSI	8	63.3%	89.1%

問題	コース	分類	学習前	学習後
1 クリティカル器具(侵襲的器具)は、使用後に下記のどの方法により処理されるべきですか	滅菌	3	64.29%	87.04%
2 HIV陽性血液による針刺し・切創が発生した場合の対応で正しいのはどれか？	職業感染防止	4	99.21%	99.07%
3 カテーテル挿入バンドルには、カテーテル関連尿路感染予防を目的とする次のエビデンスに基づいた対策の実施が含まれる	UTI	7	90.48%	98.15%
4 手指衛生は、日本集中治療医学会によるVAP予防バンドルに含まれている	VAP	5	92.86%	98.15%
5 手術チームにSSI率に関するフィードバックをすることはSSI率の低下につながることを示されている	SSI	8	72.22%	94.44%
6 重症患者が多い内科病棟に勤務する看護師が水痘を発症し、4人の患者が曝露しました。感染予防のための対応で誤っているのはどれか？	職業感染防止	4	91.27%	97.22%
7 85歳の女性が転倒し、腰を骨折し、顔に複数の切り傷を負って病院の救急外来に運び込まれた。患者は意識がはっきりしており、協力的で周囲の状況についても理解している。患者の病歴に	標準予防策	1	88.89%	94.44%
8 末梢静脈カテーテル関連感染症を予防する方法として正しい組み合わせはどれか	BSI	6	80.95%	94.44%
9 手袋を着用していれば、手指衛生の必要性はない	手指衛生	2	100.00%	98.15%
10 滅菌工程を最も適切に説明している答えを選んで下さい	滅菌	3	84.13%	93.52%
11 日本のICUを対象とした研究によると、VAP患者の平均在院日数は、医療関連感染を起こさない患者に比べて、著しく長い	VAP	5	76.98%	98.15%
12 SSIのリスクを上昇させる宿主リスク因子で、術前に改善努力をできるもの3つを選びなさい	SSI	8	75.40%	87.96%
13 手指衛生は、医療関連感染症を予防する上で、最も効果的な方法である	手指衛生	2	91.27%	97.22%
14 術後2ヶ月を経過して発生した深部切開層の感染はSSIにはならない。	SSI	8	85.71%	87.04%
15 CLABSI予防バンドルに含まれるのはどれか	BSI	6	80.16%	95.37%
16 石けんと水を使って手洗いをする際、手は石けんで少なくとも15秒以上こすり、それからすすぎ、ペーパータオルで蛇口を止めねばならない	手指衛生	2	67.46%	91.67%
17 標準予防策は、「あらゆる人の血液、すべての体液、分泌物、汗以外の排泄物、創傷のある皮膚、および粘液には感染性があると考えて取り扱う」という原則に基づいている	標準予防策	1	94.44%	99.07%
18 次の化学薬品を使用する工程はどれですか：エチレンオキシドガス、蒸気と過酸化水素ガスプラズマ。	滅菌	3	62.70%	79.63%
19 尿路感染症予防バンドルとは	UTI	7	84.13%	90.74%
20 血液が付着した針で針刺し起きたあとに、医療従事者が行う対応で正しいのはどれか？	職業感染防止	4	91.27%	98.15%
21 VAP予防バンドルはチェックリストを使用して確実に実施し、実施率を評価することが推奨されている	VAP	5	95.24%	96.30%
22 中心静脈ライン関連血流感染の影響に関する記述でどれが正しいか	BSI	6	50.79%	85.19%
23 手指衛生は感染伝播を予防するための最も重要な対策である	標準予防策	1	93.65%	98.15%
24 下記の患者ケア用品のうち、滅菌を必要としないのはどれですか	滅菌	3	81.75%	92.59%
25 もし、患者がC.デフィシルあるいはノロウイルス感染症に罹っている、あるいはその疑いがある場合、アルコールハンドラップを手指衛生に使用することが出来る	手指衛生	2	63.49%	74.07%
26 中心静脈ラインを挿入する医師は、次の个人防护具の使用を求められる	BSI	6	73.02%	95.37%
27 カテーテル関連尿路感染症を発症させる病院および機器関連のリスク要因には	UTI	7	58.73%	83.33%
28 下記の説明で正しくないのは、どれですか	滅菌	3	62.70%	84.26%
29 カテーテル関連尿路感染について正しいものを1つ選びなさい	UTI	7	80.95%	89.81%
30 医療従事者が患者ケアを実施している際に手袋をすれば手指衛生をする必要はない	標準予防策	1	97.62%	99.07%
31 人工呼吸器回路は、気道の細菌汚染を防ぐために、少なくとも1週間に1回定期的に変換することが推奨されている	VAP	5	42.06%	74.07%
32 インフルエンザ流行期に、38℃以上の発熱、咳、咽頭痛、関節痛を認める医療従事者が行う感染予防行動で最も適切なのはどれか？	職業感染防止	4	96.03%	98.15%
33 次の患者に尿路カテーテルを挿入すると、尿路感染症のリスクがより高くなる	UTI	7	55.56%	92.59%
34 VAPのリスクを高める要因で正しいものをひとつ選びなさい	VAP	5	46.83%	78.70%
35 WHOの「安全な手術は命を救うチェックリストと手術ケア」に見られる、SSI予防のための根拠に基づいた診療の一つは、次のどれか	SSI	8	22.22%	80.56%
36 医療従事者は、手袋を着用する場合でも、患者に触れる前には手指衛生を行う必要がある	手指衛生	2	96.83%	98.15%
37 血管内留置カテーテルに細菌が侵入する最も一般的な方法は	BSI	6	58.73%	95.37%
38 SSIは下記のように分類される	SSI	8	61.11%	95.37%
39 安全器材の使用について正しいのはどれか？	職業感染防止	4	92.06%	97.22%
40 下記の感染症患者は飛沫予防策の下に置かれるべきである	標準予防策	1	36.51%	66.67%

A病院 医療関連感染予防対策講座 事前事後テスト集計

(コメント)

事前テスト

(1) 基本的知識を確認する1. 標準予防策、2. 手指衛生はもとより、特に4. 針刺し、予防接種等職業感染防止は、94%正答率と最も高く、入職時からの職員教育の成果と伺われました。しかし、同じ基本的事項の確認のなかで、3. 滅菌・消毒・洗浄は、71.1%と低い結果を示していました。

(2) エビデンスに基づくプロセス遵守を徹底することにより、感染予防管理・質の向上を目指すサーベイランスに関する基礎知識習得を目指す項目5. ～8. の結果です。

5. VAP(正答率70.8%)、6. BSI(同 68.7%)、7. UTI(同 74.0%)、8. SSI(同 63.3%)と、70%前後の正答率でした。

事後テスト

(1) 基本的知識を確認する1. ～4. の結果は、3. 滅菌・消毒・洗浄に関しては、87.4%に改善し、その他基本事項は、いずれも、90%以上の正答率を示し、

いずれの項目に関しても、さらに、知識の整理が進んだことを示しています。

(2) サーベイランスの基礎知識に関しても、5. VAP(89.1%)6. BSI(93.1%)、7. UTI(90.9%)、8. SSI(89.1%) へと、いずれの項目も、顕著に知識獲得、整理をされたことを示しています。

全40題から10題抜粋

	問 題	選 択 肢
1	クリティカル器具(侵襲的器具)は、使用後に下記のどの方法により処理されるべきですか	高レベル消毒 低レベル消毒 洗浄のみ 滅菌
2	HIV陽性血液による針刺し・切創が発生した場合の対応で正しいのはどれか?	直ちに担当者に連絡し、予防内服の必要性について評価を受ける 10日以内に担当者に連絡し、予防服薬を行う 5日以内に担当者に連絡し、予防服薬を行う HIV感染のリスクは低いため、担当者への連絡や予防内服は行わない
3	カテーテル挿入バンドルには、カテーテル関連尿路感染予防を目的とする次のエビデンスに基づいた対策の実施が含まれる	カテーテルを3日間毎に交換する 失禁を抑制するために高齢者に尿路カテーテルを挿入する 閉鎖式カテーテル回路の使用とカテーテル挿入時の無菌手技の実施
4	手指衛生は、日本集中治療医学会によるVAP予防バンドルに含まれている	正しくない 正しい
5	手術チームにSSI率に関するフィードバックをすることはSSI率の低下につながるが示されている	正しくない 正しい
6	重症患者が多い内科病棟に勤務する看護師が水痘を発症し、4人の患者が曝露しました。感染予防のための対応で誤っているのはどれか?	曝露した患者の水痘免疫の有無を確認する 発症した看護師は、感染性がなくなるまで就業停止とする 他に曝露した人、感染のリスクがある人がいないか確認する 発症した看護師は、健康な新生児が入院する病棟に配置換えをする
7	85歳の女性が転倒し、腰を骨折し、顔に複数の切り傷を負って病院の救急外来に運び込まれた。患者は意識がはっきりしており、協力的で周囲の状況についても理解している。患者の病歴によると、血液由来病原体による感染のリスク因子(HIV、B型肝炎、C型肝炎)はないことが明らかになった。医療従事者は、この患者に対して静脈内ライン挿入を開始する前に次の予防策を実施するべきである。 a 手指衛生を行う b 手袋をする c ガウンを装着する d マスクをする	a bとd aとc aとb
8	末梢静脈カテーテル関連感染症を予防する方法として正しい組み合わせはどれか a 48時間毎のカテーテル交換 b 挿入部位に抗菌薬軟膏を塗布 c 消毒剤で清潔な皮膚を準備しカテーテル挿入前に消毒剤が乾くようにする d アクセスポートを使用毎に消毒剤で拭く	aとd bとc aとb cとd
9	手袋を着用していれば、手指衛生の必要性はない	正しい 正しくない
10	滅菌工程を最も適切に説明している答えを選んで下さい	栄養型細菌のみを殺滅する工程 全ての患者ケア用品に対して、使用ごとに実施される工程 外科用機器だけに使用される工程 芽胞を含む微生物の完全な殺滅を達成する工程